

固化材（セメントガラス）の注入設備における固化材の凝固について

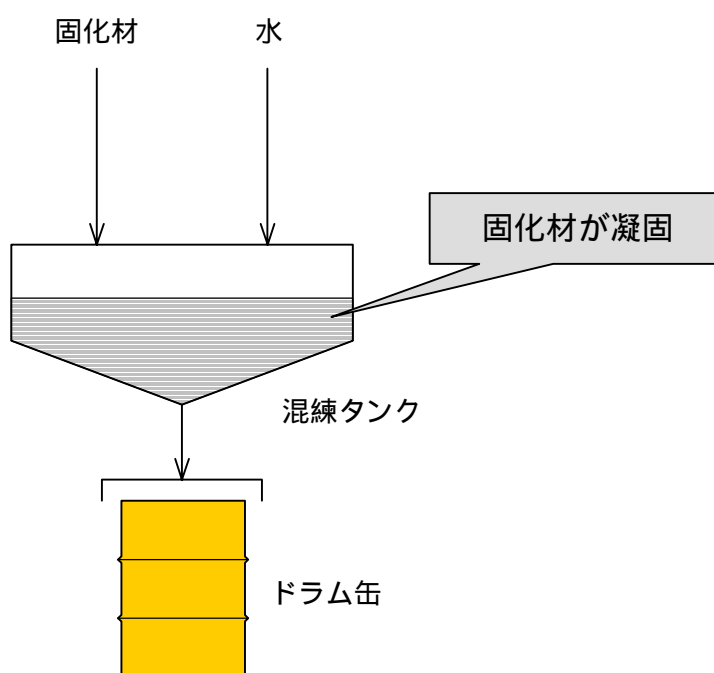
平成 16 年 9 月 15 日 20 時 45 分頃，廃棄物処理建屋 1 階の固化材注入設備^{*1}にて，焼却灰ペレット^{*2}の入ったドラム缶へセメントガラス固化材^{*3}を注入していたところ，セメントガラス固化材と水を混ぜ合わせるタンク（混練タンク）内でセメントガラス固化材が固まっているのが確認されました。

原因は，セメントガラス固化材が保管中に湿気を吸着したため，通常より早くタンク内で固まってしまったものと推定されます。

今後，凝固した固化材を除去するとともに，セメントガラス固化材の保管管理の改善を図っていきます。

なお，外部への放射能による影響はありません。

- * 1 発電所の運転に伴って発生する廃棄物をドラム缶に固化する設備。ペレット状の廃棄物を入れたドラム缶に，水と混ぜ合わせた固化材を流し込み固定する。
- * 2 発電所の運転に伴って発生する可燃性廃棄物を焼却減容した際の焼却灰を，圧縮して粒状に固めたもの。
- * 3 セメントの一種であり，焼却灰ペレット等の廃棄物をドラム缶内で安定な形に固定するためのもの。



固化材注入設備概要図